

花のチカラ 緑のココロ

2017年 夏号



春にご案内した通り、通常総会と第16回園芸福祉シンポジウムは、7月8日に沖縄県那覇市で開催されました。シンポジウムは、午後1時半に沖縄らしく三線と唄での開会です。まず、沖縄の食文化についての講演、参加者の北京精華大学李教授による中国園芸福祉近況報告のあと、「アダン筆づくり」「草玩具づくり」「ハーブを楽しむ」の3つの体験ワークショップに分かれて楽しみました。内容の企画、準備、当日の運営など全てお任せした「沖縄園芸福祉協会」の赤嶺会長から寄稿をいただきましたので、以下にご紹介します。



「来年のシンポジウムは沖縄でやりましょう！」と吉長理事長が突然に言い放ったのは、前年度の三重大会交流会で松阪牛を食べ満腹になっていたところでした。私としては「持ち返って相談します」と言うのが関の山でしたが、沖縄へ戻りメンバーに相談したところ、意外にもあっさりと「やりましょうよ」と軽い返事で沖縄開催を決意することになりました。しかし、沖縄での園芸福祉は10年を経たとは言えまだまだ脆弱で、多くのメンバーが仕事のかたわら時間をこじ開けてどうにか継続しているという状況です。

集まる機会もそう多くないので、企画のスタートは年末の忘年会を兼ねて行いました。お酒の力を借りましたが、なるべくメンバーの自由な意見や発想を大事にしながら、無理をせず等に等身大で進めていくことにしました。沖縄園芸福祉協会は、モデルガーデンの整備作業を中心に活動をしており、ガーデンの傍らには焼き芋のできるスペースやピザ釜も作ってきました。その一方で、草玩具やカラーサンドプランツづくりなど植物クラフトの機会も多くあり、企画会では、沖縄ならではの話題提供と楽しいワークショップをしようということになりました。また、テーマには「ホッと、美ら結い、おーきな輪！」を掲げ、こころ熱く手を取り合って交流を大きく広げていくことに焦点を絞りました。

大きなハプニングも1つありました。当初、開催を予定していた日にAKB48総選挙の沖縄開催が3月下旬に発表され、ホテルや航空券の予約が困難になることが予想されたため、急きょ開催日を3週間ほど遅らせることになったのです。しかし、当初の予定日は大雨となり、結果的に延期をしたお陰で青空の下での開催となりました。ただ、7月上旬の沖縄は気温以上に日差しが強烈で、参加した皆様はそうとう暑い思いをしたのではないのでしょうか。そして、きっと沖縄メンバーの思いもヒートアップしていたものと思います。

(沖縄園芸福祉協会 会長 赤嶺 光)

確かに沖縄は暑かったですが、夕刻からの飲みや踊れの交流会、那覇市内の普段なかなか行けない緑環境の見学会など、参加した約80名とのふれあいで暖かな気持ちになれた2日間でした。来年は、岡山市で6月9日に開催する予定です。

なお、総会は原案通り、活動報告、収支決算、活動計画、予算、役員（別表参照）について承認いただきました。（文責：協会事務局 粕谷芳則）



役員一覧

理事長	吉長成恭						
理事	赤嶺 光	五十嵐久美子	石神洋一	大出英子	賀来宏和	粕谷芳則（新）	
	家老 洋	黒瀬恵子	齋藤京子	渋谷雅史（新）	高松雅子	田村 亨	
	西村 清	服部 勉	福田久美子	前川良文			
監事	相田 明	藤井隆徳					

※（新）は新任、無印は再任です。

地域協力団体のご紹介

現在、全国各地域の園芸福祉活動を支えていくために、都道府県単位で園芸福祉の実践や普及、ネットワークづくりを進めている地域協力団体が20団体あります。地域の活動や行事等につきましては、お気軽に地域協力団体までお問い合わせください。お近くに地域協力団体がない場合は、当協会までお問い合わせください。

地域	団体名	連絡先	地域	団体名	連絡先
北海道	北の園芸福祉研究会	090-9439-1523 (三田村)	三重県	三重県園芸福祉ネットワーク	0595-65-8787
福島県	うつくしま園芸福祉の会 担当: 関野	024-593-6337	滋賀県	NPO法人滋賀の園芸福祉研究会	077-589-2210
栃木県	園芸福祉とちぎ	0285-53-6825	京都府	NPO法人京の農・園芸福祉研究会	075-581-5499
埼玉県・東京都 千葉県・神奈川県	園芸福祉首都圏ネット	090-6925-6163 (五十嵐)	大阪府	NPO法人たかつき	072-689-9112
新潟県	園芸福祉にいがた	0258-86-8121	兵庫県	ひょうご宝塚園芸福祉協会	0797-86-0619
石川県	いしかわ園芸福祉協議会 担当: 瀬川	076-225-1478 (内線 4271)	岡山県	NPO法人岡山県園芸福祉普及協会	090-7543-8168 (西村)
長野県	長野県園芸福祉ネットワーク	0265-98-6707	広島県・島根県	ひろしまね園芸福祉協会	0823-33-7173
岐阜県	NPO法人岐阜県園芸福祉協会	0574-72-2222	福岡県	園芸福祉ふくおかネット	090-8626-1586 (黒瀬)
静岡県	NPO法人しずおかユニバーサル 園芸ネットワーク	053-425-8686	長崎県	NPO法人長崎さんさん 21	095-857-3251
愛知県	NPO法人花と緑と健康の まちづくりフォーラム	052-613-1187	沖縄県	沖縄園芸福祉協会	098-895-8820

園芸福祉士資格審査のご案内

平成29年度園芸福祉士資格審査についてご案内いたします。以下の①～③の審査条件をすべて満たした方は、園芸福祉士資格審査の申込をすることができます。

【審査条件】

- ①初級園芸福祉士の資格更新を1回以上行い、審査申込時点で資格登録者であること。
- ②園芸福祉活動を2年以上行い、年間活動アンケートを2回以上提出していること。ただし、年間活動アンケートは園芸福祉活動の実施報告であること。
- ③当協会または地域協力団体の主催或いは共催のシンポジウム、事例発表会、勉強会、イベント等に1回以上参加していること。審査申込時に自己申告していただきますが、居住地域に地域協力団体がない等、参加が難しい方については別途ご対応いたします。

審査申込期間 平成29年8月10日～8月31日

審査料 3,000円

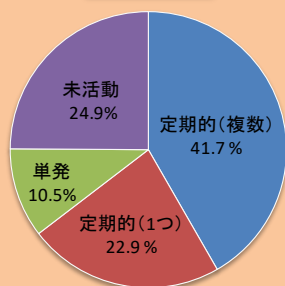
平成29年度新たに①②の条件を満たした方には審査申込書をお送りいたします。また、平成28年度以前にすべての条件を満たし今年度審査を希望される方、審査条件を満たしているかご確認されたい方は、8月21日(月)までに事務局までお問い合わせください。



年間活動アンケート集計結果

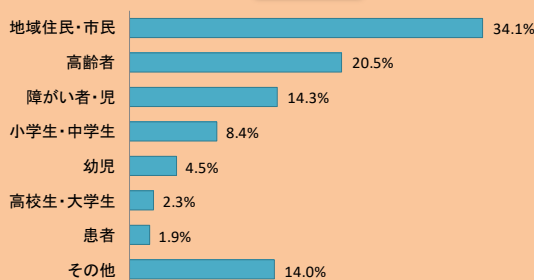
年間活動アンケートにご協力いただきありがとうございました。ご回答いただきましたアンケートの内容は、今後の園芸福祉活動の普及発展に活かしてまいります。集計結果がまとまりましたので概要のみお知らせいたします。今後、内容に関する詳細や活動紹介等の依頼の為、ご連絡させていただくこともありますのでよろしくをお願いいたします。

活動状況



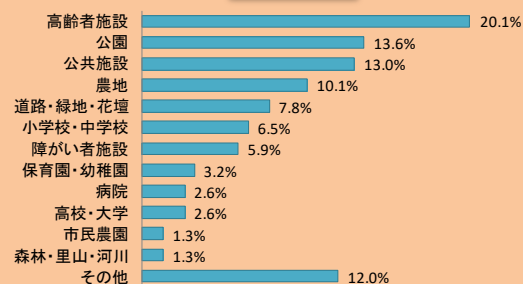
定期的と単発を合わせ活動を行っている 75.1%、活動を行っていない 24.9%。活動を行っている人の半数以上が複数の活動を定期的に行っている。

対象者



地域住民や市民を対象にした活動が 34.1%で最も多く、次に高齢者 20.5%、障がい者・児 14.3%であった。

活動場所



高齢者施設が20.1%と最も多く、次に公園13.6%、公民館や地域交流施設などの公共施設が13.0%であった。

- ・最も回答の多かった活動は高齢者施設での利用者を対象とした活動で全体の約18%を占めた。
- ・次に多かった活動は地域住民参加による公園や花壇の管理で約11%であった。
- ・障がい者を対象にした活動では農福連携の取り組みが多くみられた。

✦ 初級園芸福祉士の自己紹介

趣味のガーデニングを通して植物の持つ力を実感し、園芸福祉に興味を持ちました。微力ですが、園芸福祉活動に参加することにより、高齢者の方々がより明るく楽しい生活を送るためのお手伝いが出来ればと考えております。（神奈川県／40代）

花と緑が大好きです。植物を見る、触る、感じる、心地良い空間を一人でも多くの方に届けたく思っています。私の取り柄、優しさを持って、初級園芸福祉士の活動をしていきたいと思えます。（滋賀県／40代）

5、6年前に体調を崩した時に、仕事（習字教室）を辞め、その時に草取りや土いじりをしていくと熱中して嫌な事を忘れていく事もでき、少しずつ元気になる事ができました。良き人達との出会いもあり、再び仕事もできるようになりました。これからも、植物や多くの人と関わっていききたいと思えます。（沖縄県／50代）

農業高校で農業をしています。野菜や草花に触れる機会が多く、草花の素晴らしさを学びました。私は園芸福祉を通して、高齢者との関りを深めたいと考えています。そして、自分が持っている園芸福祉の知識を周りに広め、皆で楽しく交流できたら良いと思っています。園芸福祉の素晴らしさをより一層広めるために、積極的に活動を行っていききたいと思えます。（愛知県／女子高校生）

雑誌で園芸福祉の存在を知り「なんてステキな活動！」と感動しました。花と緑が大好き、今はただそれだけで何ができるわけでもない私ですが、笑顔のふれあい、人の役に立てるよう、できることから始めようと思っています。（岡山県／50代）

ハーブや家庭菜園に興味があります。花と緑で人のつながりを深めることができれば嬉しく思います。休耕田があるので、ハーブや野菜を作って友人と交流していききたいです。（広島県／60代）

本年度は、新たに約200名の方々が登録されました。その中から一部をご紹介します。



高校に入学し、農業について深く学んできました。園芸福祉について始めは「高齢者や障害者が主な対象なのだろう」と思っていました。しかし、対象となるのは全ての人であり、皆で幸せになろうという考え方だということを知り、この園芸福祉について興味を持ちました。今後は、花や野菜などにに関わり、最近話題となっている6次産業化を目指して、更に勉強していききたいと思っています。（三重県／男子高校生）

今まで、幼稚園や小学校、高齢者福祉施設など、いろいろなところでボランティア活動をさせていただいてきました。園芸福祉を学んだことで、今まで以上にいろいろな場所でたくさんの方と関わりが増えると楽しみにしています。これからも、みんなの笑顔のために頑張ります。（岡山県／50代）



✦ 活動紹介

シャイニング の 「畑くらぶ」

遠くに高層ビルを望む横浜市港北区高田町で「成人発達障害と共に歩む会 シャイニング」の「畑くらぶ」の活動をしています。代表であり社会福祉士でもある原田さんと二人でスタートし、2年目になりました。月に1回の交流会では、参加者皆で農作業をして作物をお土産に持って帰ります。それを支えるボランティア作業が平日

2回あり、ご協力下さっている藤田農園さんのお手伝いも行っています。これまで交流会やボランティアには、ハンディのある方々の他、教育関係者、ご近所の方、農作業が好きな方、大学のサークルの方、通りがかった小学生など、実に様々な皆さんが参加してくださっています。出会いが連鎖して、お互いに作業や作物や情報を交換することもあり、畑を軸にして小さな変化が次々と生まれています。詳細は「シャイニング」のHPや「畑くらぶ」のFBをぜひご覧下さい。

ご参加も大歓迎です。（白井敦子 16-111）



<http://ayumukai1120.web.fc2.com>





コラム 市民農園万国記
～屋上などで園芸作業 日本①～

～人工地盤に作られたアグリ成城～



～屋上菜園のソラドファーム～



残暑お見舞い申し上げます。

今回から日本の市民農園です。最初は、ここ数年増えてきた『農地に由来しない市民農園』を2例紹介します。まず1例目は、東京都世田谷区にある『アグリ成城』です。この農園は、都内でも高級住宅地として知られる小田急線の成城学園駅から歩いて5分の場所にあります。小田急線の線路の上にふたをして、ふたの上に作られています。区画数は約300で、標準的な区画は6㎡、年間利用料金は9万円強から13万円くらいと高額です。

2例目は、昨年4月に新宿駅上に建てられたバスターミナルビル「バスタ新宿」の屋上にある『ニューマン SHINJUKU』です。ここは、JRの高架下や駅ビル屋上などの空閑地で農園を運営するソラドファームの農園です。ホームページによると3㎡と4㎡の区画が主体で、それぞれ年間利用料金は、129,600円と151,200円となっています。

農地で展開する通常の市民農園の場合、立地や設備、管理、指導の違いから、年間㎡当たり200円から1,500円です。上記2例の農園は、道具は全て農園に用意しており、作業後のシャワー室まで用意され、栽培の指導も受けられますが、値段は別次元の高さです。現在多くの人々は、多大なストレスに直面しており、その解消をある人はスポーツに、また趣味や飲酒に頼る人もいれば、花みどりとのふれあいに求める人もいます。月に約1万円の負担は、人間性回復のため、若い人でも負担できるのです。東京だから成り立つだけではないと思います。

次号は、田舎暮らしを市民農園で叶えられる「滞在型市民農園(日本型クラインガルテン)」を紹介します。
(粕谷)

求む！各地・各人の活動情報

地域組織や個人の園芸福祉活動の情報を事務局宛にお送りください。また、下記mailアドレスにご連絡ください。会報などはPDFファイルを添付してメールしていただければ皆様に広報させていただきます。

HP アドレス : <http://www.engeifukusi.com/>

mail アドレス : kyoukai@engeifukusi.com

正会員を募集しています

日本園芸福祉普及協会は、NPO法人です。NPO法人は、正会員で成り立つ組織です。協会の正会員の内70%以上の方は、初級園芸福祉士の資格を取られた後に正会員になられた方達です。多くの方に正会員になっていただき、協会運営にお力添えをお願いいたします。

おすすめの一冊

今回、おすすめの1冊はお休みですが、会報で紹介させていただきお勧めの本を募集しています。みなさんのおすすめの1冊をぜひお知らせください。ただし、園芸福祉に関連する、あるいは関連すると思われる本に限らせていただきます。お待ちしております！！

一計 報一

当協会の井上純理事が6月12日にご逝去されました。ここに謹んで哀悼の意を表し、ご冥福をお祈り申し上げます。

編集後記

夏本番になるとガーデニングに欠かせないのが「麦わら帽子」。二大産地は岡山県と埼玉県春日部市。仕上がりを決めるひと手間の「寒干し」は、縫い上げた帽体を空気が乾燥した冬の時期に天日にさらして干し、湿気を取り除くと帽子の編み目が引き締まり、型崩れしにくく長く使える帽子が作れるといいます。春先の出荷を控えた麦わら帽子が、屋外一面に並び日差しを浴びる様子は、春日部の冬の風物詩なのとか。(今井)



NPO法人日本園芸福祉普及協会

〒162-0063 東京都新宿区市谷薬王寺町 58

TEL:03-3266-0666 FAX:03-3266-0667